

出題意図と評価の観点

問1：本文の内容を踏まえて、「キー・コンピテンシー」とは何かを説明しなさい。(100字以内)

出題意図

本文の主旨を踏まえ、適切な情報を選択し、表現できるかを問う。

(評価の観点)

- ・「さまざまな状況における複雑な課題に応えることのできる」「すべての人にとって重要な汎用的能力」であることが説明されているか
- ・『『個人の成功』と『社会の発展』の双方にとって価値がある』といった趣旨が説明に含まれているか
- ・「不確実性の増す今後の国際社会において現代人に必要となる」といった趣旨が説明に含まれているか

問2：本文を読んで、学校教育に求められることについて、あなたの考えを述べなさい。ただし、著者の主張する「組織のトータル・コンピテンシー」に対するあなたの意見を含むこと。(600字以上1000字以内)

出題意図

本文の内容を踏まえ、受験生が自らの考えを論理的に説明できるかを問う。

2020年度にスタートした「新しい学習指導要領」(小学校：2020年度～ 中学校：2021年度～ 高等学校：2022年度～ 特別支援学校は、小・中・高等学校学習指導要領に合わせて実施。)の主題は「生きる力 学びの、その先へ」であり、絶えず変化し多様化する社会において、学校教育は「生きる力」を育むことを主題としている。

知識及び技能、思考力・判断力・表現力などの個人スキルの向上のみでなく、周りの人たちと共に考え、学び、「共に生きていく」という感覚を育むことも、教師に広く求められる資質である。広い視野で教育を理解し、児童生徒に働きかける姿勢を問うことは、発達の援助者であり文化の伝達者である教師という職業、あるいは教育に対する情熱を持った人材を求めるというアドミッションポリシーにも対応する。

(評価の観点)

- ・本文内の著者の主張する「組織のトータル・コンピテンシー」に対する自身の意見が述べられているか
- ・学校教育に求められることに対する自身の考えが述べられているか
- ・以上に加え、教育学部 AP (アドミッションポリシー) の観点をもとに評価を行う